

## 3D プリント技術による緊急隔離病室

湖北省のコロナウイルス流行により、「隔離病棟が不足する湖北省を支援するため、上海金山区のテクノロジー企業の盈創建筑科技（上海）有限公司が、高度な 3D プリント技術を使用して緊急に多くの隔離病室 15 セットを製造し、湖北省の咸寧市中央病院に寄付した。

盈創建筑科技（上海）有限公司が提供する 15 の 3D プリント隔離住宅には、壁は中空で、面積は約 10 平方メートル、高さは 2.8 メートルである。ベッドエリアと洗面所を設置されており、エアコンを装備した後は、移動式の高強度で密閉された断熱感染症ハウスである。

建築資材、製鉄スラグ、砂漠の砂などが印刷用の「インク」として使用でき、プリンターは 24 時間作業して 12 セット以上の住宅を印刷できるという。

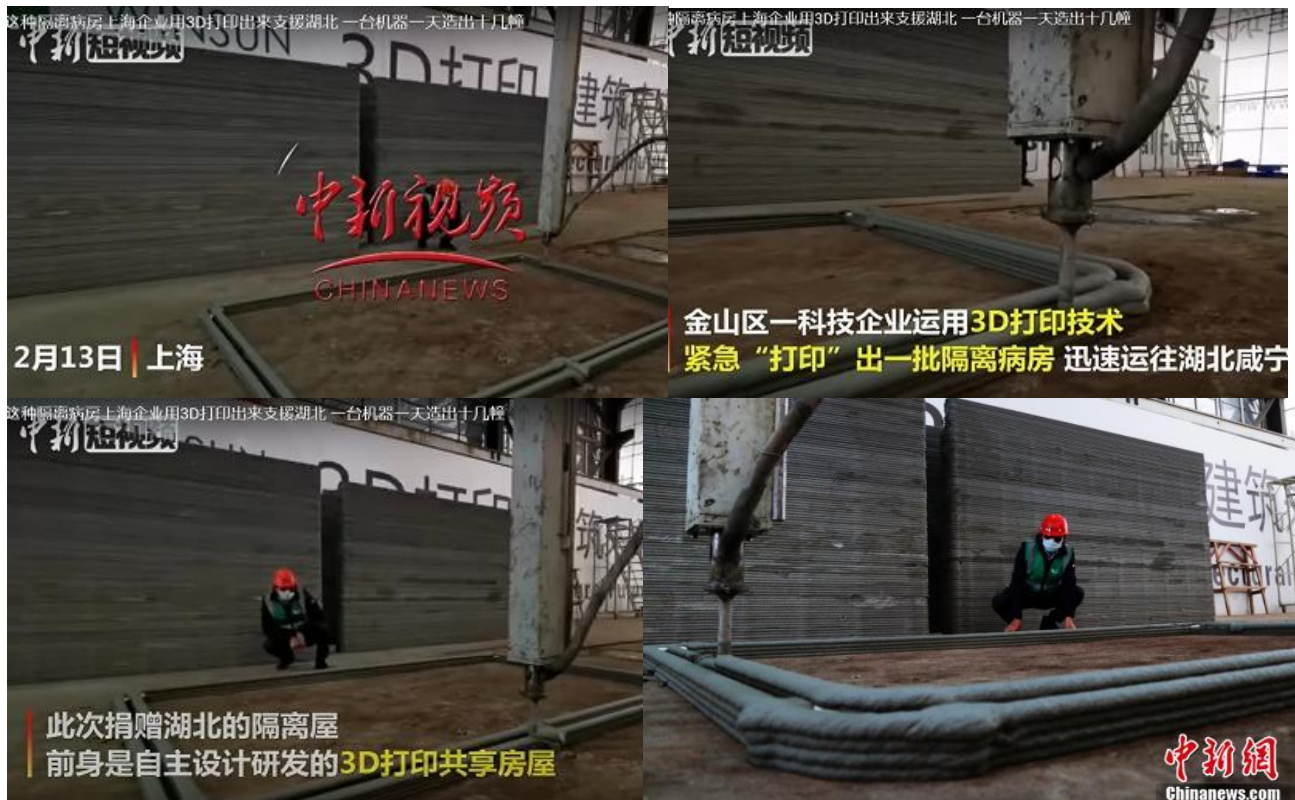
（岩下繁昭@沖縄那覇市 2020）

### 引用文献：

[https://www.youtube.com/chinanews?sub\\_confirmation=1](https://www.youtube.com/chinanews?sub_confirmation=1)

<https://www.jfdaily.com/wx/detail.do?id=210185>

[http://news.xnnews.com.cn/tpxw\\_2110/202002/t20200213\\_1929539.shtml](http://news.xnnews.com.cn/tpxw_2110/202002/t20200213_1929539.shtml)





2020年2月11日に15戸の3D印刷された隔離住宅を載せたトラックが出発した。





これらの3D 隔離住宅の合計価格は87万元（約1500万円）で、環境に優しく、移動しやすく、断熱されており、咸寧市中央病院での新しいコロナ肺炎の予防と制御に使用されることになる。

